

学校法人 尚綱学園 広報誌
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION
PUBLIC INFORMATION

礎

ISHIZUE

2011.Summer

vol.13

平成 23 年度

尚綱公開講座

人間探求 -生活にゆとりを-

学校法人 尚綱学園恒例の公開講座を開催します。皆様多数の受講をお待ちしております。

主催: 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 後援: 熊本県

開講日時と講座内容

開講日	I (9:10~10:30)	II (10:40~12:00)
8月29日 (月)	開講式 親子関係と心理発達の障がい 尚綱大学短期大学部幼児教育学科教授 緒方 宏明	野生力をどう育てるか ~常民発達心理学の視点から~ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科教授 濱崎 幸夫
8月30日 (火)	メタボリック症候群と食生活を考える 尚綱大学生生活科学部教授 徳富 芳子	食の力 ~食と健康~ 中国家庭(薬膳)料理研究家 陳 好美
8月31日 (水)	『梅松論』の魅力 ~将軍と九州の武將達~ 尚綱大学文化言語学部教授 武田 昌憲	ゆったりとネットライフ 尚綱大学生生活科学部准教授 岡田 則浩
9月1日 (木)	トマトの履歴書 ~トマトを知って食生活にゆとりを~ 尚綱大学短期大学部総合生活学科学部准教授 園田 一文	キッチンサイエンス 尚綱大学短期大学部食物栄養学科学部准教授 小野 要
9月2日 (金)	エコな暮らしでスマートに 尚綱大学文化言語学部教授 石原 修	消費者問題から学ぶ消費者市民社会へのアプローチ 尚綱大学短期大学部総合生活学科学部准教授 川口 恵子

※開講式後に「受講者と講師の茶話会(懇談会)」を開催します。

場所 九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール 熊本市九品寺2丁目6番78号

受講者 どなたでも受講できます。

受講料 5日間の資料代として 2,000円を実費負担していただきます。

申し込み 往復はがきに ①郵便番号、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢と性別、⑤電話番号、⑥受講希望講座名、
⑦前回受講の有無、を書いて8月22日(月)までにお申し込みください。なお、当学園webページ又はE-mailでもお申し込みできます。
お申し込みいただいた方には、事前にお申し込みと講義録をお送りします。個人に関する情報は、公開講座に関してのみ使用させていただきます。

申込先・お問合せ 尚綱学園内 尚綱公開講座係 〒862-8678 熊本市九品寺2丁目6番78号 TEL096-362-2011
尚綱学園webページ <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/> E-mailアドレス kokai@shokei-gakuen.ac.jp

後 塞

東日本大震災により被災された皆様方の一日も早い復興を祈念いたします。
国際社会で先頭を切って走ってきた日本は今、人間の力の全てを打ちのめすほどの地震と津波の猛威にさらされたが然らずにたまたまむしかない。
歴史に未曾有なことが起き、前代未聞でどう対処すべきかわからないときに必要なことは教養に裏付けられた第六感であり、それは無駄なことをしないと磨かれない。良し悪しは別として、短期間に成果を出すことが求められ無駄なことを許容しない社会では、それが難しいのも事実である。
日本人は繊細で探求心が強く勤勉な民族と評価されており、その結果二度の奇跡を起こした。奇跡の 一つは、幕藩体制から近代国家を 気につくったこと。諸藩の特色が打ち出され、学ぶ者の目的と個性を考慮した熟慮ある柔軟な教育によって生み出された人材が新しい時代を作った。第二は、戦後の復興。廃虚と化した地で大人達が寝食を忘れ働き、子供達はそれを見て好奇心、挑戦する勇氣や責任感、創造力、判断力、自立心を養ってきた。
人間性を育む教育を行い、自分なりの価値観をもつ個人を育てる教育に課せられた荷は重い。(HT)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。編集・発行 尚綱学園 編集スタッフ 高橋秀康 長谷川新吾 古澤千鶴 松野多恵子 村上 悠
〒862-8678 熊本市九品寺2丁目6-78 TEL 096-364-0116 FAX 096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp

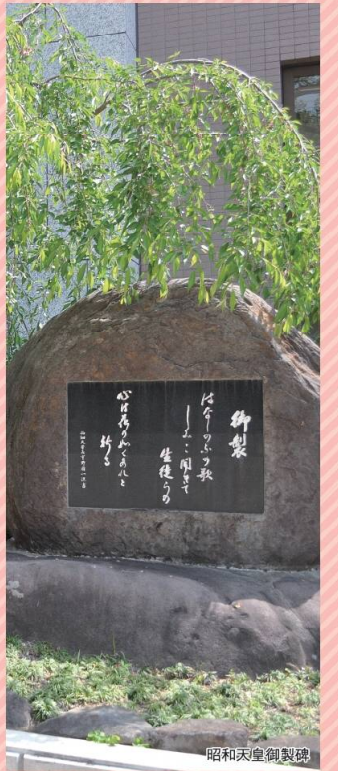
学校法人 尚綱学園
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION

尚綱大学 尚綱大学短期大学部
尚綱高等学校 尚綱中学高等学校
尚綱大学短期大学部附属幼稚園

尚綱学園

検索





昭和天皇御製碑

いしづえ
礎

vol.13 CONTENTS

中高一貫コース スタート
新校舎建設中……………巻頭

イベントレポート……………2

尚綱コレクション……………5

新任教職員紹介……………5

中高一貫コーススタート
新校舎建設中

◆中高一貫コース概要

建学の精神を基盤に置き、急速に変化しつつある社会の明日を担う「教養と創造力と品性のある社会人」としての意識を醸成し、10年先、20年先の社会を予見し「社会人として十分に貢献できる人間の魅力と人間力を持った人材の育成を目的」として、平成23年度入学生から中高一貫を新設しました。

概要は、1、「進学指導の徹底と英語教育の推進」 2、「徳育・体育教育の推進」 3、「生命・環境・エネルギー教育の推進」を柱とした特色ある教育を推進します。授業時間の質・量の充実と少人数による進学指導の徹底。中でも英語教育では、外国人3名の指導体制による徹底した英会話授業の推進により、いつでもどこでも英語会話ができる生徒の育成を目指します。また、装道・華道・茶道・書道による日本文化への理解と徳育、情操教育を推進します。さらに、中高5力年間をかけて体系的な座学（授業・講義）と校内での野菜作りをはじめとしたフィールドワークによる「生命・環境・エネルギー教育」を行います。

その他、10年後を見据えた女子校ならではのキャリア教育を中心とした「尚綱塾」、



アリーナ(体育館)



ロビー(体育館)

2Fロビー

◆高校の普通コースを総合コースに再編

進路志望のさらなる実現と志望実現後の連携を推進する為、従来の普通コースを「総合コース」と改め、2年次に「文系クラス」「理系クラス」の何れかを選択します。3年次は「文系」「幼児教育」「食物」「総合生活・情報ビジネス」「医療」の5つのクラスを設け、生徒が自己の進路志望に応じて選択し、学年が進むにつれて徐々に進路を絞り込み、学校設定科目等による進路に応じた授業内容を実施します。また、内部進学を視野に入れた尚綱大学短期大学部との授業等の連携を推進します。

◆高校の特進コースの再編

新たに特進コースの指導責任者として特進コース主任を配置して、従来の各学年による指導体制を3学年合同の指導体制に改め、3学年が一体となった指導の強化・充実を図ると同時に、授業時間・課外授業・模擬試験等の質と量を充実させ、国立・公立大学・難関私立大学・医療系大学等への進路実現を推進します。また、中高一貫コースとリンクした「尚綱塾」「尚綱ゼミ」を導入し、授業時間以外の指導も積極的に行います。

◆奨学生制度の大幅充実

従来の奨学生制度を一変し、入学時の「特待生制度」と入学後の「奨学生制度」の二本柱に改めました。特待生制度は、人物・学力の優秀な生徒に対する「特待生」と特技に優れた生徒に対する「特技特待生」としました。一方、奨学生制度は入学後に顕著な学業成果を修めた生徒を対象とし、特典も特待生とはほぼ同等で充実した特典を与える制度になりました。



◆九品寺キャンパスの再開発

九品寺キャンパスの再開発に伴い、老朽化した高校校舎及び体育館、そして新たに合宿所兼セミナーハウスの建設されることになり、既に九品寺寮の跡地に中高合同校舎の建設工事が進められています。8階建ての中高合同校舎と4階建ての合宿所兼セミナーハウスの完成が平成23年11月末、アリーナ(武道場・剣道場併設の体育館)が平成25年2月末にそれぞれ完成の予定です。新校舎が完成し九品寺キャンパスの教育環境が整備されるのを機に、地域に開かれた新たな九品寺キャンパスを形成したいと考えています。



中高図書館



中高合同新校舎とアリーナ(体育館)
(H23.12月より順次完成予定)

尚綱高等学校

「交通講話」が行われました。

平成23年5月7日(土)、本校体育館にて、寺原自動車学校の千場昭司氏をはじめ同自動車学校のみなさんを講師にお招きし、「交通講話」を実施しました。本校は、多くの自転車通学生を抱えています。基本的な交通ルール、交通マナーなどを丁寧に教えて頂きました。講演の終盤には、自転車を使った実技指導も行われ多くのことを学びました。日頃、何気なく運転している自転車ですが、常に緊張感をもって運転しなければ重大な事故を招きます。自転車も自動車と同じ車両であると自覚し、今後、自転車の安全運転を心がけようと思います。



就職希望者のための就職講話

平成23年5月2日(月)、就職希望の3年生とその保護者を対象に、就職の心構えとその準備についての講演会を実施しました。講師の廣瀬修一氏は、コンベンション・社員教育プログラム開発も手掛けておられ、具体例を示して分かり易く解説してくださいました。その詳細は、進路指導部から発行する「春に向かって5月号」に掲載しました。講演内容は、就職希望者のみならず、いざ就職をする進学希望者にも大変有用な事柄でした。

熱く語られる廣瀬氏の話には、生徒も保護者も深く傾きながら聞き入っていました。また、大事なことをメモする様子も見られました。模擬面接も実施して頂き、講話を終える頃には、生徒の表情が一様にきりりと引き締まって見えました。



尚綱大学・尚綱大学短期大学部

認証評価結果について

平成22年度、尚綱大学は日本高等教育評価機構、尚綱大学短期大学部は短期大学基準協会による認証評価を受け、ともに評価基準を満たしていると認定されました。

※大学・短期大学は、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況について、7年以内に一度、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価(認証評価)を受けることが義務付けられています。(学校教育法第109条第2項)



認定マーク(大学)



認定マーク(短期大学)

尚綱大学生活科学部 栄養科学科

管理栄養士国家試験対策について

尚綱大学生活科学部は、平成18年開設以来、平成23年3月で第2期の卒業生を送り出し、同3月に実施された第25回管理栄養士国家試験の合格率は65.7%でした。なお一層の合格率向上に向け、本番と同じ形式の模擬試験やきめ細やかな対策講座等、国試対策の充実・強化に取り組んでいます。



尚綱中学校

中高一貫コース スタートしました。

中高一貫コースでは、6ヶ年を通して、「日常英会話」、「英語スピーチ」の能力を身につけ、日本の文化や次世代のテーマである「生命・環境・エネルギー問題」に対応できる、国際的に活躍できる人材の育成を目指します。

英語の授業では、中高一貫用の教科書を使用し、毎週2回のネイティブ教師3名による少人数グループでの英会話の授業、パソコンを使ったe-Learningでの英語学習、尚綱塾(授業以外の特別授業)での交流活動や校外研修を通して、正確で美しい発音、イントネーション、リズムの習得を目指し、生徒の英語運用能力を高める英語教育を推進しています。また、副担任にはネイティブ教師を配置し、日常の学級朝礼・終礼を英語で実施し、英語の読み聞かせや「英語図書コーナー」の設置により、できるだけ多く英語に触れる機会を与えています。その他にも、自己表現能力を高めるため、英語によるスピーチ、ディベート、ディスカッションにも取り組みます。



中高一貫 礼法教育に力を入れています。

女子校ならではの落ち着いた雰囲気と伝統に培われた気風の中で、日本の伝統文化を学び、情操豊かな人格を育み、日本人としての自信と自覚を持った、国際社会で活躍できる女性を育てます。

総合的な学習の時間の「礼法」の授業では、外部講師を招いて各学年で「装道」、「華道」、「茶道」を学びます。学園管理棟地下には約60畳の和室があり、1学年での「装道」では歩き方や正座、お辞儀の仕方、立ち居振る舞いの練習や浴衣の着装の指導が行われ、1年後には浴衣が一人で着られるようになります。また、2・3学年では「華道」・「茶道」の授業が行われ、3学年では保護者を招いてのお茶会も開催します。

毎年7月の「七夕祭」、1月の「かるた会」など、全学年で楽しみながら我が国古来の美徳と習俗を学び、大切にすることを育むような行事も組み込まれています。「礼法」の授業を通して身につけ、学んだものを日常生活や他の教科の中で生かし、美しい身のこなし、正しい言葉遣い、気持ちの良い挨拶ができる女性を育てます。



中高育友会総会が行われました。

平成23年5月14日(土)本校体育館にて育友会総会が行われました。平成23年度初めての総会ということで、まず校長の挨拶で始まり、平成23年度努力目標「STAGE23」についてや、職員の研修について若手研修や他校視察など積極的に実施する体制を作っているなど、生徒が心身ともに健康で自主自立の姿勢を育み、笑顔と活気にあふれた規律ある美しく落ち着いた学校づくりを目指し、全職員でサポートしていきたいと話がありました。また平成22年度の決算報告や平成23年度の予算について話し合わせ、保護者新役員の紹介ではそれぞれ一言ずつ挨拶を頂きました。新育友会会長の高島さんの新役員としてのご挨拶後、最後に平成22年度までお世話になった吉川育友会会長の挨拶で、「私と娘2人がずっと尚綱に縁があり、これからも応援していきたい」と心強い挨拶を頂きました。



尚綱高等学校

「EUがあなたの学校にやってくる」の講演が行われました。

平成23年5月10日(火)本校体育館にて、「EUがあなたの学校にやってくる」と題し、イタリア大使館から一等書記官シモーネ・トルケッタ氏と文化学術担当官(通訳)コラド・モルターニ氏を講師にお招きし、講演会を実施しました。EU(欧州連合)に関する様々なお話を頂き、27の加盟国で構成されているEUの実態を知ることができました。お二人の母国であるイタリアのお話では、私たちに馴染みの深いスポーツ選手やイタリア料理のお話など、日本とイタリアの距離を近く感じることができました。EU圏内では、人やモノの移動が活発であり、私たちの目に映るEUはとても発展しています。その反面、27カ国の異なる国々のそれぞれの文化、宗教が存在し、共存・共栄の難しさも知りました。



今号から新しく始まりました
尚綱コレクションでは、
尚綱学園の歴史を写真で
ご紹介していきます。

創立50周年記念行事として昭和13年(1938)11月18日、尚綱
高等女学校校舎落成式が行われました。正門奥には内藤備十
郎銅像が見えます。第2次世界大戦中、軍に供出しました。



教頭合志林蔵が文部大臣井上毅に建請し、仙台市松操女学校校長朴沢三
代治の発案による裁縫の一角教授を本校でも採用し、全国に尚綱高等学校の
名が知れ渡りました。明治40年(1907)頃、裁縫一角授業が始まりました。



昭和6年(1931)11月18日に昭和天皇が本校へ行幸されたことを記念して、行
幸記念館(現学園事務局長)が昭和7年(1932)10月に建築されました。

平成23年度 新任教職員紹介

尚綱大学文化言語学部	文化言語学科	教授	武田 昌憲	尚綱大学短期大学部附属幼稚園	教諭	小見久美子
尚綱大学文化言語学部	文化言語学科	准教授	河田 和子	尚綱大学	就職課長	島崎三和子
尚綱大学文化言語学部	文化言語学科	准教授	宇野 文重	尚綱大学 榎木キャンパス	職員	古澤 洋平
尚綱大学文化言語学部	文化言語学科	助教	宮崎 尚子	尚綱大学 榎木キャンパス	職員	田尻博成美
尚綱大学文化言語学部	文化言語学科	助教	松本 貴文	尚綱大学 榎木キャンパス	職員	小川 帆波
尚綱大学短期大学部	総合生活学科	准教授	川嶋健太郎	尚綱大学 榎木キャンパス	職員	河浪 有律
尚綱大学短期大学部	食物栄養学科	准教授	石橋 弘志	尚綱大学 榎木キャンパス	守衛	児玉 公彦
尚綱大学短期大学部	幼児教育学科	准教授	塩崎 美穂	尚綱大学 九品寺キャンパス	職員	本田伊津美
尚綱大学短期大学部	食物栄養学科	助手	柴田 文	尚綱大学 九品寺キャンパス	職員	城本 はつね
尚綱大学短期大学部	食物栄養学科	助手	小林 康子	尚綱大学 九品寺キャンパス	職員	渡辺 浩子
尚綱高等学校		講師	森 聡美	尚綱大学 九品寺キャンパス	職員	高本亜希子
尚綱高等学校		講師	梅田 博	尚綱大学 九品寺キャンパス	職員	工藤 友美
尚綱高等学校		講師	矢野 祥子	尚綱大学 九品寺キャンパス	職員	北村 礼子
尚綱高等学校		講師	松永 康彦	尚綱中学校	職員	田端美沙紀
尚綱高等学校		講師	土肥 裕子	尚綱大学短期大学部附属幼稚園	職員	大川 智世
尚綱中学校		教諭	佐藤 直美	尚綱学園学園事務局	職員	栗崎 みどり

尚綱大学文化言語学部 文化言語学科

韓国(釜山)へ研修旅行に行ってきました。

平成23年3月9日(水)から3月12日(土)に3泊4日の日程で韓国の釜山(プサン)へ研修旅行に行ってきました。

参加したのは文化言語学部2・3年生の12名で、国立釜山大学や釜山の史跡・文化施設を見学しました。釜山は福岡からフェリーで6時間で行ける韓国の南の玄関口で、船から一步下りると韓国文化が満喫できる日本から一番近い外国です。また、昔から日本と盛んに交流して来た日韓交流の拠点でもあります。本学生は、韓国語と日本語を駆使して地下鉄に乗りたり食べ歩きをしたりショッピングしたりしながら習った韓国語を思う存分使うことができました。

国立釜山大学では、日韓交流に関する講義を聞いた後、学食で韓国料理を食べ、大学周辺の学生街を韓国の学生と一緒に見学しました。友達になったガイド役の釜山大学生と日韓両語でメールを交換している学生もいます。今回の韓国訪問を機会に本学との交流が益々深まることと思われます。



尚綱大学生活科学部 栄養科学科

Family Martとお弁当の共同開発をしました。

平成22年度、Family Mart商品本部の方々4年生で、7ヶ月間にわたり開発会議を重ねた商品が、九州地区(宮崎・鹿児島を除く)のFamilyMart全店で平成22年6月から7月の期間限定にて発売されました。熊本の特産品をアレンジし、女性目線でパッケージにまでこだわった「雑穀入おむすびとおかずセット」、「手巻き豚キムチおむすび」、「うまか〜和風そばろバスタ」、「いきなりシュー」の4品が店頭に並びました。開発に携わった学生は、自分の顔写真が載った商品が手に取られる様子を見て、感無量だったようです。



尚綱大学短期大学部 食物栄養学科

ハローグリーンエブリー × 食物栄養学科 弁当開発コラボ企画

平成22年12月13日(月)から12月22日(水)10日間の期間限定として、ハローグリーンエブリー健軍・島崎・近見・九品寺・長嶺の5店舗で、「ハローグリーンエブリー×食物栄養学科2年生との共同開発コラボ弁当」が販売されました。学生から昼食あるいは弁当で食べてみたいもの、学内の実習で作り好評だった献立、野菜を取り入れバランスのとれた内容、学生が購入しやすい価格などの意見が出され、そのすべて取り入れていただきました。内容は◆ひじきとレンコンのハンバーグ◆鶏肉の梅酒煮◆小松菜と豚肉のスタミナ炒め◆エビチリ◆かぼちゃのサラダ◆ほうれん草の白和え◆ゴマ団子◆生姜ごはん◆ちりめんごはんの9品で380円でした。普段の学習の成果を見ていただく、よい機会になりました。



尚綱大学短期大学部 附属幼稚園

「幼稚園のスクールバスがリニューアルしました。」

幼稚園では、園児の約7割が登降園にスクールバスを利用しています。昨年バスを購入する際、短大部の美術の先生のご協力をいただいて、バスの車体に園児が描いた絵をデザインしました。出来上がったのは「どんぐり号」・「虫号」です。ここに顔のどんぐりが手をつないだり歌ったりしている姿、カタツムリやクモ、クワガタ、ハチやヘビなどが描かれています。森の生き物は子ども達の大切な友達です。いつも一緒に遊んでいるようなどんぐりや虫が描かれたバスに乗って登園する子ども達は、「今日も一緒に遊ぼうね。」と森に誘われているような気分だと思います。

